

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

第3期阿蘇市まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

熊本県阿蘇市

### 3 地域再生計画の区域

熊本県阿蘇市の全域

### 4 地域再生計画の目標

阿蘇市は、熊本県の北東部、阿蘇地域の中央部に位置しており、熊本県と大分県の県境を有し、大分県の2市を含めて8つの市町村と隣接している。

市域は、東西約30 km、南北17 kmで、面積は376.30 km<sup>2</sup>。

地形は、阿蘇五岳を中心とする世界最大級のカルデラや広大な草原を有し、比較的平坦地の多い阿蘇谷と、それを取り巻く阿蘇外輪地域で形成されている。市の大部分が阿蘇くじゅう国立公園内にあり、野焼きに代表される人と自然の共生によって守られてきた広大な草原や、オオルリシジミをはじめとする阿蘇特有の希少動植物など、豊富な自然と様々な地域資源に恵まれている。これらの地域資源は、世界的に高く評価され、世界ジオパーク及び世界農業遺産に認定されている。

本市の人口は、1955年の41,617人をピークに減少しており、住民基本台帳によると2025年には23,953人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2070年には総人口が10,272人となる見込みである。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は1955年の14,937人をピークに減少し、2020年には2,780人となり減少傾向にある。一方で、老年人口（65歳以上）は1955年の2,680人から2020年には10,063人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も1955年の24,000人をピークに減少傾向にあり、2020年には12,087人となっている。

自然動態をみると、出生数は概ね 200 人台で推移してきたが、2020 年以降になると 200 人台を大きく割り込み、2024 年は 108 人まで減少している。その一方で、死亡数は概ね 300 人台で推移してきたが、2024 年は 440 人となっており、出生者数から死亡者数を差し引いた 2024 年の自然増減は▲332 人（自然減）となっている。

社会動態をみると、一部の年を除いて、転出が転入を上回る「転出超過」となっている。特に、2012 年の九州北部豪雨及び 2016 年の熊本地震の際には、転出者が大きく上回った。2024 年においては、10 人の転出超過となっているが、外国人転入者の増加により、転出超過数は少なくなっている。このように、人口の減少は出生数の減少（自然減）や、転出超過（社会減）等が原因と考えられる。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、市民の結婚・出産・子育ての希望の実現を図り、自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り、活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 阿蘇市に仕事をつくる
- ・基本目標 2 阿蘇市に人の流れをつくる
- ・基本目標 3 阿蘇市で結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ・基本目標 4 阿蘇市で魅力的な地域をつくる

### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2029年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	市町村内総生産	1,241億 5,500万円	1,300億円	基本目標 1
イ	転入者数	1,020人	1,170人	基本目標 2

イ	転出者数	1,030人	1,000人	基本目標 2
イ	社会動態 (転入者数－転出者数)	△10人	170人	基本目標 2
イ	年間観光客入込数	6,260,264人	6,500,000人	基本目標 2
ウ	出生数	108人	100人以上	基本目標 3
エ	推計人口	23,550人	22,000人以上	基本目標 4

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する  
特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

第3期阿蘇市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 阿蘇市に仕事をつくる事業

イ 阿蘇市に人の流れをつくる事業

ウ 阿蘇市で結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

エ 阿蘇市で魅力的な地域をつくる事業

#### ② 事業の内容

ア 阿蘇市に仕事をつくる事業

地方が経済的に自立するために、デジタル技術を活用し、地域産業の生産性の向上を図るとともに、継続的な地域発のイノベーションの創出にも取り組むことで、地域を支える産業の振興や起業を促す。

【具体的な事業】

- ・スマート農業やI o T・I C Tの活用による技術力の向上と省力化の推進
- ・地域に根差した畜産業の振興による畜産環境の保全
- ・森林整備、林業担い手の確保及び木材活用の推進 等

## イ 阿蘇市に人の流れをつくる事業

本市への移住・定住を促進し、市外から本市への人の流れを生み出すとともに、本市から流出しようとする人を食い止める。

また、多様な人材同士が影響し合い地域の活力を高める姿を目指すため、交流人口及び関係人口の拡大を図る。

### 【具体的な事業】

- ・地域営農法人の広域連携やU・I・Jターン新規就農者支援の推進
- ・ストーリー性のある観光メニューや旅行者ニーズに応じた体験・宿・食の提供による観光客の増加
- ・SNSやマスメディアを活用した情報発信による観光誘客 等

## ウ 阿蘇市で結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

本市の実情に応じた、結婚・出産・子育て支援の取組を行っていく。

### 【具体的な事業】

- ・妊娠期の保健指導充実による将来の子どもの生活習慣病予防
- ・乳幼児健診や育児相談を通じた子どもの早期治療や早期療育
- ・子どもの医療費助成などによる子育て環境の充実 等

## エ 阿蘇市で魅力的な地域をつくる事業

様々な分野において、デジタルの力を有効に活用し、地域の個性を生かしつつ、高度かつ効率的に魅力あふれる地域づくりを実現する。

### 【具体的な事業】

- ・スポーツイベント誘致による地域経済活性化や市民の健康増進
- ・阿蘇の景観を未来に継承するための世界文化遺産登録の推進
- ・24時間365日受信可能な救急医療の強化 等

※なお、詳細は第3期阿蘇市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり

### ③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

### ④ 寄附の金額の目安

4,000,000千円（2026年度～2029年度累計）

### ⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度8月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針

を決定する。検証後速やかに本市公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2030年3月31日まで

**6 計画期間**

2026年4月1日から2030年3月31日まで